

2024 年 3 月期 第 2 四半期 アナリスト様向け Zoom ウェビナーカンファレンス 主な質疑応答記録

日時：2023 年 10 月 27 日（金） 17:00 ～ 18:00

出席者：取締役常務執行役員 基盤事業本部長 松浦 一慶
取締役常務執行役員 管理事業本部長 曾根 芳之
取締役常務執行役員 高機能事業本部長 小西 裕一郎

【全体】

ご質問：通期下方修正の理由について、事業別にポイントを説明してほしい。

回答：中国景気低迷の予想がある中で、エラストマー素材事業、高機能材料事業ともに当初想定より厳しい状況になるというのが現状の見立てである。エラストマー素材事業は化成品事業を中心に流通在庫の消化遅れを織り込んだ。高機能材料事業は、特に医療その他向け光学樹脂に関し顧客在庫の消化に時間がかかっていること、中小型フィルムに関しタブレットおよびノート PC の生産台数が減少していることを織り込んだ。

【エラストマー素材事業】

ご質問：2Q と下期のエラストマー素材事業の状況に関して説明してほしい。

回答：特に化成品事業に関し、巣籠り需要の緩和に伴い主要用途の粘着剤、およびこれを使用した末端製品である梱包用テープ市場の動きが鈍く、業績が振るっていない。当初は 2Q 明け頃より在庫の消化が進むとみていたが、一部用途で回復の動きが見えつつあるものの、まだ在庫消化には時間がかかるものと見込む。特殊ゴムについては、1Q から引き続き需要、工場稼働ともに堅調である。

ご質問：合成ゴムについて、中国景気低迷や米国ストライキの影響について説明してほしい。

回答：中国景気低迷の動きは、原料価格に影響する。2Q は、ABS 含め末端製品の引き合いが弱い状態にあったことで、原料価格の下落を引き起こし、これに伴い当社も汎用ゴムを中心に販売価格が下落した。一方で、特殊ゴムに関しては、中国向けも堅調な状況が続いている。

米国ストライキは想定より長引いた後、収束の目途が立ったとの報道がされたばかりであり、影響についてはこれから慎重に見ていく必要がある。自動車製造はサプライチェーンが長いこともあり、足元の出荷量に大きな影響は出ていないが、自動車生産台数の減産などが起こると、どこかのタイミングで影響が出る可能性はあるだろう。

【高機能材料事業】

ご質問：高機能材料事業における 2Q 減益の要因と下期の市場状況について説明してほしい。

回答：2Q は光学フィルムに関して、大型フィルムの新ラインが 10 月の稼働計画であったところ、1 カ月前倒したことで、計画外の 1 か月分の減価償却が発生していること、また前倒しの立ち上げによる歩留まりの悪化から、原価ロス、固定費単価の悪化が発生していることから、2Q の利益を押し下げた。前倒しの理由は顧客からの非常に強い要望に基づくものである。また、光学樹脂に関して、主に半導体容器向けについて半導体市場の低調による出荷減が影響した。

下期にかけて、大型フィルムは、顧客の需要も底堅く、下期は新ラインの稼働率向上に応じ能力増強分の出荷量増を見込む。また、光学用途向けの光学樹脂について、スマホ生産台数は回復が低調であるものの、中間在庫の消化が進み出荷が改善していくと見込む。一方で、医療その他向けの光学樹脂について、改善は 24 年度以降となるだろう。

ご質問：電池材料の市場状況について説明してほしい。

回答：当初予想と比較すると若干に動きは弱いですが、電池の流通在庫の解消が進んできており、当社からの出荷量も順調に回復してきている。今後の中国経済情勢等は気かりなもの、市場の拡大に伴い当社も成長していく計画である。

ご質問：電池材料に関して、地域別の出荷回復状況を説明してほしい。

回答：中国向けを中心に、押しなべてどの地域も2Qは回復基調であった。下期もこの傾向は続くと予想している。

ご質問：高機能材料事業において、2Qに新規開発費用が増加している背景を説明してほしい。

回答：中期経営計画達成に向けて、新しい製品や用途開発に関する研究、販売活動の強化を行っている。

以上